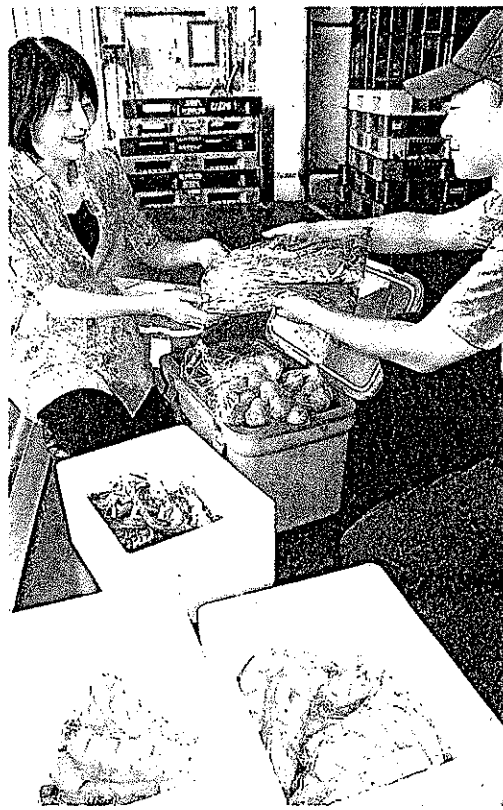


# 子ども食堂に食材提供

## 福井 県民生協などスタート



ひまわりキッチンメンバー(左)に食材を手渡すコープ北陸事業連合の担当者＝11日、坂井市のエルシーコープの丸岡物流センター

### 月2回、他団体へ検討も

県民生協同組合(本部福井市開発5丁目、竹生正人理事長)などは、宅配事業の食材の一部を、子ども食堂を開催する福井市の団体「ひまわりキッチン」(白崎順也会長)に提供していく。

北陸3県の生協で構成する生活協同組合連合会コープ北陸事業連合、県民生協の物流子会社エルシーコープとともに実施する。

同生協によると、宅配事業の商品は輸送中の損傷などに備え、注文数よりも多めにメーカーなどから送られてく

る。そのため商品が余る場合があり、物流センターで働く従業員らに販売することで対応している。ただ、全てが売れない場合は廃棄せざるを得なかったという。

ひまわりキッチンは昨年9月に設立され、毎月2回子ども食堂を開いている。活動を知らなかった県民生協などが、余った商品を役立ててもらおうと提供を持ち掛けた。

この日は、坂井市のエルシーコープの丸岡物流センターを訪れた同団体のメンバーに、バナナや牛乳、ジャガイモ、水菜などの食材を贈った。12日に福井市明新公民館で開く子ども食堂で活用されるという。白崎会長は「非常にありがたい。食材を提供する動きが活発になれば、子ども食堂が開催しやすくなり、活動の輪が各地に広がることも期待される」と話している。

(吉川良治)